

# 看護部

看護部長 康 明子

平成26年度の事業計画としては、診療報酬改定に伴う看護部門で取得できるものは取得するよう工夫する。JCIのモックサーベイと病床数574床から619床に増床となった。

## 看護目標総括

### 目標1.

#### 患者中心の安全で質の高い看護を提供します

- 1) 安全な看護の提供・2) 看護の質保証・3) 看護の質改善の評価としては、リスク委員会の活動強化を図り、転倒転落率3.03%となる。RCA分析に各部署が取り組む姿勢が培ってきている。
- 2) 5S活動を積極的に11階病棟が昼休み時間の15分間全員で毎日おこなった。どの病棟よりナースステーション内がすっきり物品の整理ができ、働きやすい環境になってきている。
- 3) 認定看護師が各病棟をラウンドする事でコンサルテーションを受ける体制が整う。
- 4) 手洗い遵守率83.1%と毎年同じである。また、CDトキシンのアウトブレイクがなかったことが大成果である。
- 5) 看護補助者の患者搬送マニュアルを作成実行している中で、双方特に看護補助者は安心して業務遂行をするようになる。
- 6) 退院後のADLや治療を安心して継続できるよう、副主任会が退院指導パンフレット作成と実施を繰り返す、より良いパンフレット作成に力を注いでいる。

### 目標2.

#### 情報共有、教育機能を高め継続看護の充実を目指します

- 1) 主任会では、病棟間・病棟と検査部門（血管造影・内視鏡）・病棟と透析の申し送り書の統一を図り、患者の情報共有を強化した。

- 2) 副主任会では、退院パンフレット作成と活用後の記載事項を作成する事で継続看護を図ることを継続している。

- 3) キャリア開発ラダーの企画運営は、今年度より開始となっていることから手探りをしながら教育内容・方法・講師の選択を考えていく。

### 目標3.

#### やりがいをもって継続できる職場環境づくりを推進します

- 1) 週休・有給休暇消化の推進は人員不足と様式9の遵守に伴い推進に至らなかった。
- 2) 日中の研修時間の保障は、できた。  
レベルⅠ＝72時間・レベルⅡ＝4時間・レベルⅢ＝8時間であった。
- 3) 看護配置7：1加算が遵守できた。

### 目標4.

#### 病院の新規事業展開と収益向上に貢献します

- 1) 退院支援室を立ち上げ、専従看護師を1名配置する。看護師の強みを活かし、退院促進・調整等を組織横断的に活動中である
- 2) 放射線専従看護師1名配置（6月より外来放射線診療週一回292点×4回＝1168点/一人/月の収入up
- 3) 夜間看護師配置加算12：1申請する（6月より）
- 4) 15階43床の総合内科病棟開棟（9階・11階病棟に各1床増床）  
\*毎日9：30～ベットコントロールの時間を設け病床稼働の調整をする。
- 5) 看護配置加算7：1と夜間看護配置加算12：1を遵守している。

### 目標5.

#### 現行教育体制を確立し職員の成長と定着を図ります

- 1) 「キャリア開発ラダーの手引き」を用いての教育は、効果的であった。

<新卒者の離職率>

平成25年度 87名中13名 14.4%

平成26年度 73名中 4名 4.1%

\*\*\*全国平均 7.9%

(日本看護協会平成24年度のデータ)

<看護師全体の離職率>

平成25年度 18.8%

平成26年度 16.4%

\*\*\*全国平均 11%

(日本看護協会平成24年度のデータ)

まだまだ、全国平均より離職率が高いが毎年低くなってきていることは言える。

【総括】

—総括—

看護部として昨年は組織体制・職務基準・業務基準・看護の質向上に向けての資料・規定づくり・教育体系の構築等のシステムづくりをして、今年それを基に実行をした。

実施する中で、理解の得られないまま創り上げてきたことがわかり皆で再構築を走りながら行ってきた。事業の拡大計画は容赦なく進んでいき、人員確保もグループ病院の応援を頂きながら達成できていることに感謝したい。

まだまだ、中間管理職の育成はもとより、職員が生き生きと夢をもって働き続けられる病院を目指していきたい。

平成26年度看護部教育実績 レベル I

研修	研修日時	研修時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) 入職式	4月1日(火) 13:00~17:00	3.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入職式・オリエンテーションに参加し、病院の理念・方針を理解し職場適応できる</li> <li>・病院職員としての心構え、規則について理解できる</li> <li>・医療安全・感染管理について院内活動を理解し、行動に移すことができる</li> </ul>	病院の理念・概要 病院のしくみを知る 医療安全・感染防止 防災・個人情報		86名
2) 新入職者全体研修	4月2日(水) 3日(木) 9:00~17:00	14時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人としての職業倫理、個人情報保護の基本的な知識がわかり、遵守の必要性を理解できる</li> <li>・入職式に参加し、職員としての自覚を持つと共にモチベーションを高められる</li> </ul>	接遇・保険診療 倫理・JCI		

3) 看護部オリエンテーション	4月4日(金) 5日(土) 9:00~17:00 5日は午前中オリエンテーション、午後配置部署へ	14時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南鎌倉総合病院看護部の理念・方針を理解しスムーズに職場適応できる</li> <li>・当院の看護師としての自覚を持つと共に専門職業人としてのスタートであることを自覚する</li> <li>・湘南鎌倉総合病院の基本的看護実践マニュアルに基づき日常的に使われる看護技術を修得する</li> </ul>	看護部の理念・目標・倫理教育体制・医療安全 感染防止対策 カウンセラー 看護記録・看護業務 薬剤の取り扱い 身だしなみについて 看護協会入会について	康明子看護部長 一柳景子副看護部長 島袋朋子副看護部長 大澤栄子副看護部長 棚田幸恵副看護部長 東山久美医療安全管理室	86名
4) 電子カルテ操作訓練	4月7日(月) 9:00~12:00	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテの展開方法を体験し操作を理解できる</li> </ul>	2人1組で操作訓練を受ける30人/1G=120分	南出千恵師長	86名
5) 輸液管理・血糖測定技術研修	4月9日(水) 9:00~17:00	7時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸液管理の実際が体験を通して理解できる</li> <li>・輸液の滴数管理が理解できる</li> <li>・血糖測定の方法が理解できる</li> <li>・安全な手技の基本が理解できる</li> </ul>	100人を4Gに分ける(1G=25人) 90分/1Gの時間 グループごとに入れ替わる	手塚奈央子主任 石川雄一副主任 再田ちづる看護師	86名
6) BLS	4月10日(木) 9:00~17:00	7時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時対応の訓練を通し、緊急時の対応が理解できる</li> <li>・急変時の報告、連絡、相談が理解できる</li> </ul>	100人を4Gに分ける(1G=25人) 90分/1Gの時間	曾根祥子主任	86名
7) ME勉強会(AED・モニター・輸液ポンプ・輸注ポンプ・ガスボンベ・ネブライザー取扱)	4月11日(金) 8:30~17:00	7.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素ボンベ、輸液ポンプ、シリンジポンプ・AED・モニター・ガスボンベ・ネブライザーの操作方法が理解できる</li> <li>・機器の安全な取り扱いが理解できる</li> </ul>	・輸液ポンプ ・シリンジポンプ ・AED・モニター・ガスボンベ ・ネブライザーの操作訓練 100人を4Gに分ける(1G=25人)90分/1Gの時間	高室昌司 臨床工学技師長	86名
8) フィジカルアセスメント	5月27日(火) 5月29日(木) 5月30日(金) 13:30~15:00	1.5時間 3回実施 計4.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な症状のとらえ方を理解し、実践力を身につけることができる</li> <li>・症状の見方</li> </ul>	・集合教育 フィジカルアセスメント バイタル・呼吸	石川雄一副主任 再田ちづる看護師	75名

9) 3か月フォローアップ研修	6月6日(金)	2.5時間	・3か月間をふり返り、悩みを共有し解決策を考える ・ナーシングスキル3ヶ月技術評価を行う ・第I期修了を実感するとともに、今後の看護の課題を明らかにする ・同期との交流を行い、今後の意欲につなげる ・安全安楽な移乗動作を学ぶ	・講義 ・グループワーク ・演習	リハビリテーション科 根本敬室長 臨床心理室 松本準 副主任	75名	
10) 看護過程研修	7月1日(火)	各4時間 計12時間	・看護過程の概念について学生時の学びを復習する機会を持ち、看護過程の重要性を理解する ・看護展開システムを理解する ・今後の自己の看護展開の実践に役立てる ・静脈注射についての各レベルや基礎知識を理解し、安全な薬剤投与を行う事ができる ・安全な採血について学ぶ ・安全な採血の技術を学ぶ ・安全な筋肉注射について学ぶ ・安全な皮下注射について学ぶ	・集合教育 ・演習 静脈注射 採血 筋肉注射 皮下注射	南出千恵師長 小幡三智子主任 岸田紀美副主任 倉田綾子副主任 石井孝恵	76名	
11) 看護技術(採血・静脈注射・筋肉注射・皮下注射)	7月3日(木)						14:00~18:00
7月4日(金)	14:00~18:00						
12) 6か月フォローアップ研修・メンバーシップ研修	9月5日(金) 9月12日(金) 9月18日(月) 17:30~19:00	1.5時間 4.5時間	・6か月間をふりかえり思いを表出できる ・互いの悩みを共有し解決策を考える ・課題解決に向けて次のステップに踏み出す機会にする	・集合教育 ・グループワーク、 発表	教育委員	72名	
13) 輸血・麻薬	11月6日(木) 11月22日(土) 11月29日(土) 17:30~19:00	1.5時間 4.5時間	・適切な輸血・麻薬の取り扱い方を知ることができる ・インシデント事例より、安全な輸血・麻薬の管理ができる	・講義	検査部 榎検査技師、市原検査技師 薬剤部 萬主任	75名	

14) 看護観発表会	1月17日(土) 1月24日(土) 17:30~19:30	2時間 計4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者さんとの関わりから看護師として大切にしたいことがわかる</li> <li>看護専門職として自己の成長を表現でき文章でまとめ他者に伝えられる</li> <li>看護専門職としての自己の姿勢を振り返り成長したこと、今後の課題を明らかにできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会</li> <li>「看護観発表」</li> </ul>	教育委員	73名
------------	-------------------------------------	-------------	--	--	------	-----

平成26年度看護部教育実績 レベルⅡ

研修	研修日時	研修時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) ケーススタディのまとめ方研修	6月24日(火) 6月26日(木) 6月27日(金) 16:30~18:00	1.5時間 計4.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の患者を受け持って看護展開する中から印象に残るケースを選択し自己の看護をまとめる</li> <li>看護をまとめ、振り返ることで看護観を深められる</li> <li>ケースのまとめ方が理解でき、倫理的配慮の必要性がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合教育</li> <li>講義</li> </ul>	棚田副看護部長	83名
2) リーダーシップ研修	10月18日(土) 10月23日(木) 10月30日(木) 17:30~18:30	1時間 計3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップの基本を学ぶ</li> <li>リーダーの役割を学ぶ</li> <li>メンバーシップについて考え自身の課題を明らかにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修前レポート</li> <li>集合教育</li> <li>グループワーク</li> </ul>	長坂師長	79名
3) ACLS 研修	11月23日(日) 12月21日(日) 8:30~17:30	8時間 計16時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>BLSの実施方法を学ぶ</li> <li>気道確保、DCIについて実施訓練を通して理解する</li> <li>VT・VF急変時の対応を理解する(実際の事例を用いて)</li> <li>アルゴリズムを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合教育</li> <li>演習</li> <li>実地訓練</li> <li>1日 2グループ</li> <li>1グループ 4時間</li> </ul>	曾根祥子主任 奈良唯唯子副主任 教育担当者	78名
4) プリセプターシップ研修	12月6日(土) 12月7日(日) 17:30~19:00	1.5時間 計3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセプターシップについて基本的な考え方、方法を学ぶ</li> <li>プリセプターとプリセプティの関係について学ぶ</li> <li>プリセプティへの関わりの実際を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合教育</li> <li>事前レポート提出</li> <li>講義</li> </ul>	伊藤師長	80名

5) ケーススタ ディ発表会	2月7日(土)	1.5時間 計4.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者を継続して担当し看護展開をまとめることで看護観を深められる</li> <li>・ケーススタディの発表を聞くことで看護の視野が広がる</li> <li>・ケーススタディの発表を体験する</li> </ul>	全員発表を経験する	教育担当者	81名
	2月21日(土)					
	2月28日(土)					
	17:30~19:00					

平成26年度看護部教育実績 レベルⅢ

研修	研修日時	研修時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) リーダーシッ ブ研修Ⅱ-① (チーム連携・ 家族看護)	7月12日(土) 7月24日(木) 7月29日(火) 17:30~19:00	1.5時間 計4.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーの役割を知り、理想のリーダー像に近づくための自己の課題を見いだす</li> <li>・リーダーに必要とされる要素について学ぶ</li> <li>・頼れるリーダーについてのイメージをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> </ul>	渥美清恵師長	99名
2) プリセプター フォロー研修	9月6日(土) 9月13日(土) 17:30~19:00	1.5時間 計3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターとしての悩み・思いを共有できる</li> <li>・プリセプターの役割を再確認できる</li> <li>・悩みを共有し、教育の基本に立ち返ることが出来る</li> <li>・課題解決の方法を考え共有できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	池田万葉主任	63名
3) 人間関係論	10月11・12日 11月13・14日 12月13・14日	1泊2日 計:3泊4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人や環境との関わりを通して自分を知り、他者との関わりを考える。また、これまでの経験を振り返り、自分にとっての意味を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊研修</li> <li>・講義</li> <li>・グループセッション</li> <li>懇親会</li> </ul>	湘南国際村 茨城大学大学院 教授:岸 良範	71名

平成26年度看護部教育実績 レベルⅣ

研修	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) リーダーシップ研修	11月7日(金) 17:30~19:00	1.5時間	組織におけるリーダーシップを学び、所属する組織における自己の役割を理解し、行動できるようになる。	<p>内容：</p> <p>1. 看護におけるリーダーシップ</p> <p>1) 看護の組織</p> <p>組織とは・看護の組織</p> <p>2) 看護の組織に求められること</p> <p>2. リーダーシップについて</p> <p>1) 看護組織とリーダーシップ</p> <p>2) リーダーシップ理論</p> <p>3. 演習（事前課題を基にグループワーク・実践例の意味づけ）</p> <p>各自のリーダーシップ体験を基にリーダーシップについて考える</p> <p>・リーダーシップを発揮できたと思える場面</p> <p>・リーダーシップが不足していたと思える場面</p> <p>4. 期待される役割 講義・演習 全員を3グループに分けて実施する。</p>	講師：一柳景子	39名
2) 看護研究の進め方	7月8日(金) 8月8日(金) 9月12日(金) 10月10日(金) 11月14日(金) 12月12日(金) 1月9日(金) 2月13日(金) 3月13日(金) 18:00~19:30	1.5時間 計13.5時間	臨床現場における研究方法(目的や意義/方法)などのプロセスについて基礎的な内容を勉強する	<p>1. 看護研究とは</p> <p>2. 研究疑問を明確にする</p> <p>3. 研究疑問を明確にする</p> <p>4. 研究方法の検討</p> <p>5. 研究方法の検討</p> <p>6. 研究方法の検討</p> <p>7. 研究方法の検討</p> <p>8. 研究における倫理的配慮</p> <p>9. 今年度のまとめ</p>	講師： 神奈川県立保健福祉大学教授： 難波貴代	26名

平成26年度看護部教育実績 レベルV

研修	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) コーチング研修	7月19日(土) 8月4日(月) 8月25日(月)	2時間 計6時間	個人や組織の目標達成のための自発的行動を促す(やる気を高める) コミュニケーション技術を習得する	内容: 一回目 コーチングとはコーチングの背景, 今なぜコーチングなのかコーチングの原則, コーチングの構造 二回目 「多様性について」効果的な人の関わり方、人の多様性について学ぶ「タイプ分け」 三回目 コーチングスキル 相手をほめる「アクノレジメント」効果的な「質問」 方法: 講義・演習 3回全て参加する	講師 近藤真樹 アシスタント1名	26名
2) 看護サービス管理	10月20日(月)	1.5時間	看護行政の仕組みと看護政策	1回目 社会情勢の動向を把握し、当院の役割を理し、自分の役割を再認識する	講師: 大島敏子先生	44名
	11月5日(水)	1.5時間	中堅看護師のキャリア開発	2回目 専門職としてのキャリアを学び、部下のサポートについて考える	講師: 濱田安岐子先生	38名
	1月16日(金)	1.5時間	キャリア開発の実際	3回目 キャリア開発についての概論と実際を学び、実践に役立てる	講師: 新実絹代先生	43名



平成26年度看護部教育計画 専門領域 その他

研究テーマ	研修日時	研修時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) ハラル認証	7月16日(水) 17:30~18:30	1時間	JCI更新とハラル認証の実際を知る	マレーシア研修の伝達講習	講師: 島袋朋子	106名
2) 看護倫理指針	2月9日(月) 17:30~18:30	1時間	看護研究に必要な看護倫理について学ぶ	講義	講師: 治験センター長 清水悦子	28名
補助者教育	5月23日(金) 6月16日(月) 6月27日(金)	1時間	補助業務の質向上を目指す	1. 病院機能と組織理解・医療制度	講師: 医事課課長補佐 河上久光	45名
	7月31日(木) 8月22日(金)	1時間		2. 看護倫理・個人情報保護 ホスピタリティ	講師: 島袋朋子 後藤明美	45名
	9月26日(金) 10月14日(月)	1時間		3. 医療安全と感染 (環境整備)	講師: 感染認定看護師	45名
	1月19日(月) 2月13日(金)	1時間		4. 日常生活援助 オムツのあてかた・食事介 助方法	講師: 認定看護師 NST 担当者	45名

平成27年度 院外研修参加一覧

研修名	参加者数	開催日	主催
はじめて学ぶ KYT~高めようリスクセンス~	1名	2014年6月3日	看護協会 A
臨地実習指導者研修	1名	2014年6月5・6日	看護協会 A
ホスピス緩和ケア講座	1名	2014年6月7日、26日	ピースハウスホスピス病院
看護記録の本質	1名	2014年6月12日	看護協会 A
ナーシングスキル日本版 活用セミナー	1名	2014年6月13日	エルゼア・ジャパン株式会社
平成26年度 災害時医療救護活動研修会	1名	2014年7月4日	神奈川県保健福祉局保健医療部
第8回日本慢性看護学会学術集会	1名	2014年7月5・6日	日本慢性看護学会
災害看護研修	2名	2014年7月12日	徳洲会 看護部 教育委員会
中間管理者研修	2名	2014年7月15・16日	徳洲会 関東ブロック研修
摂食嚥下障害のある患者の看護~食事をおいしく食べるために~	2名	2014年7月16日	看護協会 A
明日からできる退院指導と退院調整	2名	2014年7月17日	看護協会 A

平成 26 年度 透析療法従事職員研修	2 名	2014 年 7 月 19 日・20 日	公益財団法人 日本腎臓財団
第一回レシピエントコーディネーターアドバンスコース研修	1 名	2014 年 7 月 20 日	日本移植コーディネーター協議会
褥瘡対策のためのアセスメントとケアの実際①	1 名	2014 年 7 月 25 日	看護協会 A
よくわかる！高次脳機能障害	1 名	2014 年 7 月 28 日	看護協会 A
看護 リフレクション	6 名	2014 年 8 月 2 日	徳洲会 南関東ブロック
第 16 回 日本褥瘡学会学術総会	1 名	2014 年 8 月 29・30 日	日本看護協会
医療安全管理者養成研修	1 名	2014 年 9 月 1 日～10 月 7 日	神奈川県看護協会
実習指導者養成教育	1 名	2014 年 9 月 1 日～11 月 7 日	神奈川県立保健福祉大学教育実践センター
小児医療の現状と看護の実際	2 名	2014 年 9 月 2・3 日	神奈川県看護協会
リーダーナースのためのフジカルアセスメント 2	4 名	2014 年 9 月 9・10 日	神奈川県看護協会
第 6 回フットケア指導士 実技講習会	1 名	2014 年 9 月 15 日	一般社団法人 日本フットケア学会
一人一人が取り組む感染防止対策	1 名	2014 年 9 月 18 日	神奈川県看護協会
第 19 回 日本糖尿病教育・看護学会	1 名	2014 年 9 月 20・21 日	日本糖尿病教育看護学会
第 45 回 日本看護学会 看護管理学術集会	1 名	2014 年 9 月 25・26 日	日本看護協会
実地指導者研修	1 名	2014 年 9 月 29 日	神奈川県看護協会
看護と倫理	1 名	2014 年 10 月 2 日	神奈川県看護協会
看護の視点でみる放射線治療計画	1 名	2014 年 10 月 4 日	神奈川県看護協会
平成 26 年度 神奈川県院内コーディネート研修会	1 名	2014 年 10 月 22 日	
2014 CCT	2 名	2014 年 10 月 31 日～11 月 1 日	CCT 学会（循環器）
新人看護師のためのフィジカルイグザミネーション	1 名	2014 年 10 月 31 日	神奈川県看護協会
神奈川県 DMAT-L 隊員研修	2 名	2014 年 11 月 1 日・2 日	
第 17 回 日本腎不全看護学会	1 名	2014 年 11 月 18 日・19 日	日本腎不全看護学会
新人看護師のためのコミュニケーション	2 名	2014 年 11 月 14 日	神奈川県看護協会
リーダーナースのためのフィジカル②	5 名	2014 年 11 月 27・28 日	神奈川県看護協会
褥瘡対策のためのアセスメント②	1 名	2014 年 12 月 4 日	神奈川県看護協会
看護倫理について学んでみよう	1 名	2014 年 12 月 6 日	徳洲会 南関東ブロック
第 10 回 研究会	1 名	2014 年 12 月 6 日	マイクロセレクトロン
対人関係向上研修	2 名	2014 年 12 月 8・9 日	神奈川県看護協会
ここが知りたい。転倒転落・誤薬防止	4 名	2014 年 12 月 10 日	神奈川県看護協会
第 27 回 日本放射線腫瘍学会	1 名	2014 年 12 月 13 日	日本放射線腫瘍学会
新人看護師のためのフィジカルアセスメント	1 名	2015 年 1 月 15 日	神奈川県看護協会

第 42 回 日本集中治療医学会学術集会	3名	2015年2月9・10日	集中治療医学会
第 30 回 日本環境感染学会総会	1名	2015年2月20・21日	日本環境感染学会
日本がん看護学会学術集会	1名	2015年2月28日～3月1日	日本がん看護学会
第 37 回 日本造血移植学会	1名	2015年3月5日～7日	日本造血細胞移植学会

平成26年度 学会発表

	開催日	発表者氏名	開催場所	学会名	題目
1	2014年 5/31～6/1	奈良唯唯子	自治医科大学	第 17 回日本臨床救急医学会・学術集会	アンダートリアージ, オーバートリアージの結果からみた院内トリアージの課題
2	2014年 6/12～6/15	愛甲美穂	兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル, 神戸国際会議場	第 59 回透析医学会 学術集会総会	透析支援システムを利用したフットケアプログラムの運用
3	2014年 6/12～6/15	坊坂桂子	兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル, 戸国際会議場	第 59 回透析医学会 学術集会総会	ビギナーのためのバスキュラー・アクセス管理 使用編
4	2014年 6/12～15	今井みどり	兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル, 神戸国際会議場	第 59 回透析医学会 学術集会総会	透析患者の虚血肢に対する全身振動器を使用した運動療法
5	11/8～9	山下昭二	千葉幕張メッセ	第 17 回日本腎不全看護学会 学術総会	血液浄化センターにタイムアウトを導入して
6	10/30～ 11/1	齋藤礼子	兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル, 神戸国際会議場	CCT 2014	当院での STEMI 症例における DOOR TO BALLOON TAIME の現状と分析
7	2015年 2/9～11	大谷征士	ホテル日航東京	第 42 回 日本集中治療医学会学術集会	鎮静プロトコール作成と今後の課題 —疼痛鎮静の統一した管理を行うには—
8	2015年 2/20/～21	大澤栄子	神戸国際展示場	第 30 回 日本環境感染学会総会	当院における感染対策の目標管理 —SWOT 分析から BSC の精度を高めて—
9	2015年 2/20～21	大澤栄子	神戸国際展示場	第 30 回 日本環境感染学会総会	建築・回収工事における ICRA の活用 —JCI 認証で求められる感染制御リスクアセス メント—